



SAUNA

9月 / 350号

発行 社団法人日本サウナ協会
 TEL 03 (5275) 1541 (直)
 FAX 03 (5275) 1543
 〒102-0085 東京都千代田区六番町1

「タイランドヘルス&ビューティーショー2005」 スパ施設及びタイ古式マッサージ体験視察団 帰国報告 — 日本でも将来性あるソフトなど、盛りだくさんの収穫 —

(社)日本サウナ協会は国際交流および教育研修事業として、海外のサウナ・スパの視察を行ってきた。今年タイ国大使館商務参事官事務所の後援を受け、タイの健康と美容に関する最大の展示会「タイランドヘルス&ビューティーショー2005」にスケジュールを合わせて会員および賛助会員に参加を募った。結果、多数の応募を得て、去る9月1日～3日の間、41名の視察団という過去最多の人数での視察旅行を行った。

タイでの目的は、展示会視察、ワット・ポーでの最高水準の古式マッサージの体験、タイのスパの視察だ。大人数のため2班に分かれて行動せざるを得ない場合もあったが、中身の濃い視察となった。

「タイランドヘルス&ビューティーショー2005」はタイ国政府商務省輸出振興局の主催による、バンコク国際貿易展示場において356社688ブースが出展するという大規模な展示会だ。来場者の5人に1人は外国人という点からも、タイのヘルス&ビューティ産業の価値が世界的に認識されていることがわかる。

というのも、タイには古式マッサージとタイハーブを用いる伝統医学が古くから根付いており、日常的にも用いられている。タイ政

府はそれをサービス産業のソフトととらえ、輸出促進分野として品質を高め振興する政策をとっている。展示には日本でも見られるヨーロッパ風スパやエステ関連商品もあるが、やはり目を引いたのはタイの伝統的健康美容法や、それがベースになって開発されている商品などだ。特にハーブを使ったものは、おしゃれなうえにアロマや健康効果が期待でき、日本でも将来性あるソフトとして視察団は目を輝かせていた。

参加者からは「短期間にこれだけの視察ができて予想以上の収穫だった」「来年の企画が待たれる」などの声もあがった。



タイ視察を終えて 思いやりやおもてなしの心が色濃く残るタイに感銘

このたびの視察は協会の国際交流と教育研修事業として企画しました。

タイ国大使館商務参事官事務所の後援と商務公使チラコム・キティヤーコン氏にご協力を賜り、41名の参加で実施することができました。

今回の目的は、タイ政府主催の「タイランドヘル

ス&ビューティーショー2005」の見学ならびにタイ古式マッサージの発祥地であるワット・ポー寺院でのマッサージ体験とスパ施設の視察でした。

9月1日から2泊3日の行程でしたが、半数以上の皆さんが延泊され、チェンマイやプーケットなどまで足を伸ばしてスパを視察されました。

タイは仏教国であり、「サワディーカー」と手を合わせて挨拶します。なんだか温かいですね。日本人が忘れていた思いやりやおもてなしの心が色濃く

残っているように感じます。このような姿勢や態度をはじめ、タイを代表するハーブ製品など、私共の温浴施設にすぐにも取り入れられるようなものが数多くあり、大変勉強になりました。



9・11 衆議院議員選挙

本協会顧問
木村義雄先生当選

9月11日に行われた衆議院議員選挙で、本協会顧問の木村義雄先生が当選されました。

木村先生は10万0794票を獲得。3万票の大差で7選を果たされました。厚生畑のスペシャリストである先生の国政での活躍を期待します。

【略歴】香川2区。自民党財務委員長。元厚生労働副大臣。衆議院厚生委員長。



(ワット・ポー体験、スパの視察は2面・4面で紹介)



(社)日本サウナ協会会長 中野 憲一

またこのような視察の機会をつくり、会員の皆様にご紹介できればと思っております。

最後に、現地に行き親切にご案内いただきました、タイ国大使館のプラータナーさんに、心よりお礼申し上げます。

SAUNA新聞へのご意見・ご感想をお聞かせください。協会ホームページでもご覧になれます。http://www.sauna.or.jp/

VECTEUR

【ヴェクトール】
スキッと香って残らない極微香・残香性ゼロの男性化粧品シリーズ

HEAT ENERGY

【ヒートエナジー】
ドライヤーの熱で、サロンの仕上がり。ヒートコートプロテイン配合。

CRIESTE

【クリエステ】
全品角質除去成分「フルーツ酸」配合の自然派女性化粧品シリーズ

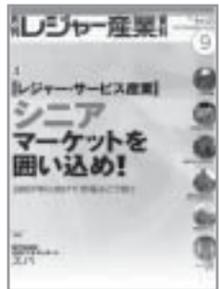
お問合せは全国の **ニトリ・カネボウ** レジャー代理店へ 総発売元: **日理株式会社**

東京店/東京都荒川区東日暮里6-39-15 ☎(03)3803-1211(代)
 大阪店/大阪府東大阪市長田東2-1-11 ☎(06)6746-5300(代)

話題

いま注目のスパ事業の全貌を明らかに!!

レジャー事業の経営者層に向けた経営情報誌『月刊レジャー産業資料』9月号(8月25日発行)では、いま注目のビジネスであるスパを、「シリーズ企画時代対応型注目ビジネスレポート スパ」として徹底検証している。



“健康”癒し”に対するニーズが日々高まっているなか、スパは心身の健康のトータルサポートを通じ、こうしたニーズに応えるニュービジネスとして、女性

層を中心に話題を集めている。海外ブランドスパの導入から始まった我が国のスパビジネスだが、今日では日本独自のブランドも誕生し、リゾートホテルや温泉旅館、商業施設、スポーツクラブなどへの導入も盛んで、医療機関と提携した施設も増加傾向にあるなど、市場は拡大の一途をたどっている。

本企画では、既存の都市型サウナからスパビジネスへの参入事例なども交え、最新のスパ施設をカラーで紹介するとともに、市場の現状と課題、効果的な開発・運営手法などを検証し、一過性のブームとしてではなく生活に密着したスパビジネスとしての成功のカタチを探る。

問い合わせ先 総合ユニコム㈱ 編集部 TEL:03-3563-0039

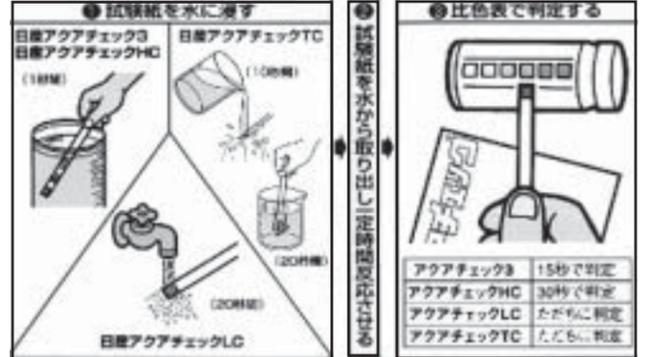
商品紹介

水の衛生管理試験紙 アクアチェック3



浴場の衛生管理はいろいろ手間のかかる作業。特に集団発生が怖いレジオネラ症の感染予防には気を使う。発生を防ぐには、浴槽水などの遊離塩素を基準値以上に保つことが重要だが、その作業を手助けするのが「アクアチェック3」だ。水の衛生管理のポイントである遊離塩素を、薬品を使わずにわずか15秒で測定できる。それも、遊離塩素測定の邪魔をする結合塩素の影響をほとんど受けなため、正しい判定結果が得られる。

「アクアチェック3」による確かな衛生管理は、安心できる浴場環境を整えてくれる。



問い合わせ先 ヒサモト産業㈱ TEL:03-3308-8003(担当:鈴木久貴さん)

サウナあれこれ 延長戦

第3回 発汗浴いろいろ

中山真喜男 サウナ管理士講師

アイリッシュ発汗浴は、多分、紀元1000年頃には使われていた。小枝と泥炭の火が円錐型小屋の中で燃やされた。小屋は石で造られ、土と小枝で密封され、部分的に覆われていた。石壁が温まると火は消され、燃えさしはかき出されて、トウシンソウ属の草や芝生で床は覆われた。人は低い入り口から這って中に入り発汗した。この習慣は19世紀には見られなくなった。

ロシアン・バス・バーニャは、最初から石のストーブをもった丸木小屋であった。蒸気は熱した石の上に水をかけて発生させるのと、湯沸し釜の両方からであった。マッサージは入浴の一部である。ロシアン・スチームバスは、19世紀にヨーロッパ中部で広まった。

アメリカンインディアンの発汗浴は、外で熱した石を低いテントか、石、土、または丸太で造られた小屋の中に押し込み、入浴者は石の周りに集まった。ある種族では、小屋の中でも火は燃やされた。水が石に投げられた。蒸気の発生は宗教的儀式の一部でもあった。入浴の間中、入浴者はそのたびごとに砂の上を転がり、最後に冷水で身体を洗い流した。この習慣は現在も、例えばグランドキャニオンの種族にあり、病気を治療するとさ

れている。

マヤ人やアズテク人は、かつて1200年以前、大規模な入浴施設(テマスカル)を持っていた。インディアンの入浴習慣は、アメリカ北部のほとんどの地域とアメリカ中部の種族に広がっていた。

フィンランド東部の入浴であるフィンニッシュサウナは、今まで述べてきた入浴法とはちょっと異なる。サウナは発汗バスとしてデザインされた木造か、木張りの部屋で代表される。部屋は炉で熱せられ、サウナの中の空気湿度は、ストーブの熱い石に投げられる水で、鋭く変えることができる。入浴は乾熱空気の中での発汗であるが、熱い蒸気の波が、別の特色として成功している。入浴中も後も、入浴者は冷気や水、雪で体を冷やす。葉のついたカバの小枝の束の小箒が入浴に添えられる。

発汗浴の歴史を見た結果として、我々は多くの異なった入浴習慣が世界中で生まれ、そして消えていったことを見ることができる。フィン人は、彼らのサウナ文化(体を洗うこと、休養としての習性)を古代から現代まで維持してきた

ここでは、エスキモーの発汗浴、スキタイ人のテント式サウナ、朝鮮の汗蒸、日本の石風呂(い

わぶる)などについてはふれていませんが、世界中に発汗浴があったことがわかります。

なお、世界の発汗浴については、昭和4年(1929年)刊行の日本風俗史講座・第10巻「風呂」(中桐確太郎著)にも述べられており、最近のものでは吉田集而著『風呂とエクスタシー』があります。

以上のことから、発汗浴の種類も見当をつけることができます。整理してみますと、

1. 小屋の中に石を積んだ炉を作り、火を燃やして石を熱くする方法で、さらに乾式と湿式に分かれる
2. サウナはこの方法で乾と湿の切り替えを楽しむところに他の発汗浴にない特色がある
3. 外で熱した石を小屋の中に押し込む方法
4. 小屋(石室)の中で薪を燃やし、熱した後で燃えさしをかき出して使用する方法
5. 床暖房方式
6. 一番原始的と思われる、小屋(テント)の中で燃やした薪の火で発汗する方法

我々が日常熱い湯につかる入浴法も発汗浴の一種ですから、ここに記されているのは熱気浴と呼ぶべきかもしれませんが、そのことは置いておいて、次回からは時代を追って見てみたいと思います。

韓国式

美肌づくりはアカスリが基礎



アカスリおよび韓国漢方美顔エステの委託業務

お腹まわりの気になる方に「腹部エステバック」

ホームページURL: http://www.kurara-body-clean.com Eメールアドレス: info@kurara-body-clean.com

申潤玉 著 毎日新聞刊



株式会社 クララボディクリーン

代表取締役 申潤玉

名古屋本社

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-23-9名駅Jビル3F A号室 TEL:052-541-7207 FAX:052-541-7208

東京事務所

〒135-0047 東京都江東区富岡1-14-15 和楽ビル1F TEL:03-3820-4313 FAX:03-5245-1598

◇体験できる営業店◇

- ホテルマリックスラグーン内2F 韓国漢方美顔エステコーナー 〒880-0021 宮崎県宮崎市清水町3-105 TEL:0985-38-5000
- SPA GALA (旧ラッキー健康ランド) 2F 韓国漢方美顔コーナー クララ 〒485-0045 愛知県小牧市川西3-7 TEL:0568-76-7337



タイスパは国と業界が協力して発展 今後はオリジナル製品を日本に紹介したい
 タイスパ協会会長 **パイブーン・ピランオウッド氏**

皆様、タイによるこそお越しいただきました。

タイスパ協会は、バンコク、チェンマイ、プーケット、ラノン、バンガー、グラヴィの6つの地域で構成されています。タイのスパは以前は風俗のイメージがありましたが、現在はタイ厚生省と業界とで法律を作り、健康産業としてイメージの向上に努め、急速に発展しています。

スパの種類は、宿泊施設を備えた滞在型のスパ、ホテル・リゾートのスパ、ディスパ、メディカルスパ、温泉スパ、スポーツクラブのスパ、クルーズ船のスパ、の7つの型があります。そして内容

により、マッサージのスパ、エステのスパ、健康のスパに分けることができます。営業の許可は厚生省が出します。働くスパセラピストは、厚生省から許可を得た学校で学ぶことが必要です。

タイのスパの特徴は、ハーブを多く使用することです。日本ではあまり聞き慣れないでしょうが、ハーブボールを温めて使用するコースがあります。ハーブ商品は世界的な流れとしてアーユルベータがブームとなっており、アロマテラピーに取り入れられるようになりました。スパでのマッサージは身体の五感に訴え、解毒のトリートメントで老廃物を出してくれると言われていいます。

タイの製品はハーブのブレンドが重要で、エッセ

ンシャルオイル製品等のグレードも高いと認められています。このたびのビューティショーをご覧になってもおわかりになるように、ものすごい勢いで発展しています。

私はこれまでタイのスパを発展させてきたこともあり、タイ政府の紹介で米国のブッシュ大統領夫人をはじめ各国の王室や国賓のご夫人が視察のため私の経営するスパへ来店されています。

これまで日本へは正式にタイのスパは入っていませんので、両国政府間で規制緩和をしていただき、タイのオリジナル製品を日本に紹介したいと考えています。日本サウナ協会との交流がいかたちで広まっていくことを願っております。

体験報告



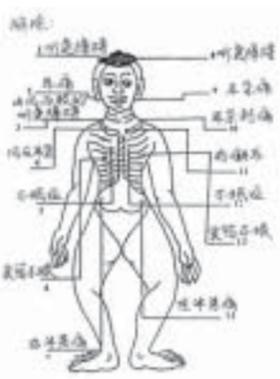
2日目の午後、タイ古式マッサージを1時間にわたり体験しました。41名が一度にマッサージを受けるため、学校の大広間にずらりと並んで敷かれたマットはあっかん。静寂の中、ストレッチによるうめき声もあればイビキをあげて眠ってしまう人ありで我々の反応はさまざまでしたが、マッサージスタッフにはスクールの講師も見受けられ、技術水準の高さは本場ならではのものでした。

ワット・ポーのタイ国伝統医学マッサージスクールで古式マッサージ

伝統的タイ式マッサージは、世界で最も効果的な物理療法であるとともにタイで最も安価な治療法として認知されており、国王から庶民に至るまであらゆる人々に利用されています。2548年以上前のブッダの時代にさかのぼる長い歴史があり、ブッダの医師でありタイ医学の父とされるシヴァガ・コマラ氏が創始者です。ブッダの時代には、若い修道僧が高位の修道僧の足を洗ったりマッサージをしたり、身の回りの世話をしていました。

1767年のアユタヤ王朝崩壊後、ほとんどの古典医学書の原本やマッサージに関する写本は燃やされ破壊されたため、すべての知識は口伝により受け継がれました。1831年、国王のラ・マ3世は王国全土からマッサージに関するすべての古文書の収集を命じ、すべての写本が作られワット・ポーに保管されました。その後、国王の支援を受けてワット・ポーはタイ国初の開かれた大学となりました。

この古式マッサージは、タイのスタイル、インドのヨガ、中国の指圧療法の組み合わせと考えられる物理療法の一形式で、精神療法とともにごく最近まで仏教寺院だけで行われていました。現在はタイ・マッサージの総本山としてマ



ッサージを行うだけでなく、併設の「ワット・ポー タイ伝統医学スクール」で国内外からの生徒を受け入れ、技術を伝授しています。

タイランドヘルス&ビューティショー 2005



タイスパの基礎知識 ハーブボール

ウコン、レモングラス、ターメリックなど多種のハーブを布に硬く包んだもので、蒸したものを体にあててマッサージし、ハーブによる薬効と温熱効果で症状を改善させる。タイ式マッサージには欠かせない伝統療法で、使うハーブによって腰痛、坐骨神経痛、肩こり、冷え性、膝や関節痛など効能は異なる。



来年もまた皆様のお越しをお待ちしております

タイ国大使館商務参事官事務所 **ブラータナー・サンバンディッサクンさん**

「タイランドヘルス&ビューティショー 2005」にお越しくださり、誠にありがとうございました。日本サウナ協会の皆様と出会って、本当にうれしく思っています。今回初めて大きなグループに同行させていただき、スムーズに進まなかった面もあったかと存じます。この場をお借りしてお詫言申し上げます。

本年は5回目の開催です。当フェアでご覧になったタイの健康美容関連産業へタイ国政府が促進しており、国内外の市場は拡大されております。特にタイのハーブは健康的なものとして認識が広まり、ハーブボールなどは海外でも人気製品になっています。この分野の産業は自由貿易協定(FTA)の項目としてタイ国政府が力を注いでおり、海外市場への推

進を計画しています。

タイ国内では古式マッサージが有名であり、人材教育及び訓練も高めています。今後、海外市場でもタイのマッサージやスパビジネスが拡大されると見込まれています。

2006年は9月8~12日に「タイランドヘルス&ビューティショー2006」が開催される予定です。来年もサウナ協会の皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

お問い合わせは、タイ国大使館商務参事官事務所 (TEL: 03-3221-9482/9483, FAX: 03-3221-9484) へご連絡ください。お待ちしております。



Asahi アサヒビール

これが辛口、うまさが違う。

洗練されたクリアな味・辛口。

SUPER "DRY"

Asahi 生

ビール飲酒は20歳になってから。ほどよく、楽しく、いいお酒。あさかんはリサイクル

アサヒビール株式会社

KIRIN

KIRIN'S ORIGINAL BREW DRAFT BEER

KIRIN BEER

一番搾り

キリン一番搾り

飲酒は20歳になってから。お酒は楽しく、ほどほどに。

技術レベルの高さに驚き



平塚グリーンサウナ 加川澄子さん

今回の企画は非常に中身が濃く、参加して良かったと思っています。展示会で現地の特徴のあるものを見られたことも勉強になりましたし、ワット・ポーのマッサージの技術も体験でき、「タイスパ」の実態も理解できました。

日本には英国式、中国式、ハワイ式、タイ式といろいろなマッサージやエステ、スパがあり、技術のレベルがまちまちで、それが本物か偽者か不明瞭なことが問題です。その点タイは、自国で高めた本場の技術が売り物ですから、お客様サイドも迷う必要がありません。マッサージやスパを産業として国が関与して振興しているということもあるからでしょう、技術レベルの高さには驚かされました。

また、スパでの体験も素晴らしかったです。視察に慣れている業界の間は、施設のアラが目につくものですが、純粋に「至福のひとつき」を堪能できました。

技術だけでなく、レモングラス、ペパーミント、ジンジャーなどのハーブをミックスした室内に漂うアロマや、担当してくださった方の優しい雰囲気が満足感を高めました。タイの方々には物腰がやわらかいので、相対するこちらの気分が楽で親しみを感じるので。仏教国だからかもしれませんが、これがスパのソフトレベルを高くしている要因なのかも知れません。

快適で美しい風土、美味しい料理、物価も安く、勉強にもなった素晴らしいことづくめの旅でした。

タイ大使館のプラターナーさんに同行していただいたからこそ、この視察が実現したと思います。本当にありがとうございました。

タイは“癒しの先進国” タイ視察団参加者の声

サウナ東京ドームでは、昨年6月よりタイ古式マッサージを始めました。それにあたり私を含め社員5名が「ワット・ポー タイ伝統的 マッサージスクール」で勉強し、修了証をいただいています。今回皆さんがワット・ポーでのマッサージを体験されて、その技術の高さに感動している様子を拝見し、修了証を持つ者としては内心、鼻の高い思いをしました。

もともと30年近く前からタイの魅力にとりつかれ、タイ事情には多少詳しいと自負しています。食事のセッティングのお手伝いをさせていただきましたが、料理も満足させていただけたようで安心しています。

私がタイを好きな理由は、「微笑みの国」と呼ばれるように、にっこりした笑顔に癒される点です。サービス業に携わる者として、これは何よりも学ぶべき点ではないかと常々思っています。

今回の視察はタイのマッサージやスパを知るだけでなく、展示会も見学でき、非常に盛りだくさんでした。専門分野をしっかり知るという意味では、こういう視察の旅は意味のあることだと思います。願わくば、次回はもう1日自由行動日が欲しいですね。



スクール修了書



修了書を受け取る長谷川さん(右)

ワット・ポーのマッサージスクールを昨年修了
サウナ東京ドーム支配人 長谷川隆さん

タイスパの魅力を確認

ニュージャパン観光株 天谷博子さん

「サワディー・カ！」(タイ語でこんにちは)の挨拶と満面の笑み、そして合掌。訪れる人をいつも暖かく迎えてくれるタイの方々にはホスピタリティーの原点を感じるとともに、タイのスパが世界の人々を魅了し続ける理由を再確認しました。“癒し”という観点からすると、タイは先進国だと思います。



今回のツアーは、タイ式マッサージ、足ツボ、ハーブボールを使ったマッサージの3時間のコースが組み込まれていました。日本では贅沢に思われる3時間のロングコースも、こちらでは当たり前。タイ式マッサージは2時間がスタンダードで、それくらいないと気持ちよくないと地元の方々には言います。

実際に弊社サロンで5年前にタイ式マッサージを導入した時は60分コースのみでしたが、お客様のニーズにより90分、120分が増え、タイ式はロングコースが主流になりつつあるようです。



今回の視察は短い期間の中にバラエティに富んだスケジュールを組み込んでいただき、さまざまな観点からタイスパを知ることができました。購入したハーブを用いたスパ製品は、今後のトリートメント商品開発に活用したいと思っています。

今回の視察で一番感動したのは、オリエンタルホテルのスパです。技術は当然のことですが、総合的な満足度は噂に違わず最高だと思いました。案内、説明、部屋のしつらえやアメニティ、ハーブティ、それらの段取り、あらゆる点で心地よい気遣いがいきわたっており、幸福感に満たされます。

内装は白と茶だけのシンプルな作り、部屋はさほど広くはないのですが天井がすごく高く開放感があり、リラックスできます。ヒーリング音楽のようなおだやかな旋律の調べが流れ、東洋的だが漢方っぽくないアロマが漂い、クリーンで優しい空気に満たされ、お客様は五感に触れるものすべてにおいて、リラックスできるのです。

例えば、寝転んで壁を見ると壁にシミがあったり、空調が良くなかったり、飾っている花が枯れかかっていたり、そういうことで人の幸福感や満足度は削られていくでしょう。「こんなものか……」という感想になってしまう。

でも、オリエンタル・スパではそれがありません。マイナス点がない。そのうえ従業員は、プロの雰囲気を持ちながらもお客様を柔らかく優しく包み込んでくれます。

同業者として生半可でできることではないことがわかるだけに、価値の高さを実感し、サービスということを改めて考えるいいチャンスになりました。



隈倉さん(後列左より3人目)

オリエンタル・スパに感激
ライフタイムス株 隈倉邦男さん



FLOAT PACK

それは、最上級の深い眠り

メトスフロートパックとは・・・

温熱療法と自然療法のトリートメントを組み合わせたボディパックです。暖められたウォーターベッドの上で、オイル・クリームを塗った体は、ラップで優しく包まれ、水の上に浮いているかのような平和な静かな時間があなたに訪れます。

解き放たれる緊張

通常のベッドでのボディトリートメントと違って、同じ姿勢でラップされていても固定された感じではなく、水の上で浮いたような感覚を味わいながら、心も安らぎ、すべての緊張から解き放たれたような開放感とともに、温熱効果により筋肉や関節をリラックスさせる効果があります。コンパクトなサイズなので、(L:2210×W:1020×H:650)部屋にすっきり納まり、空間を有効に使えます。

※現在、サウナ協会会員などを対象に、セラピストによる本格的トリートメントの体験予約を受け付けています。
お申し込みは、TEL:03-3542-6080(担当/奥村)まで(要予約)。

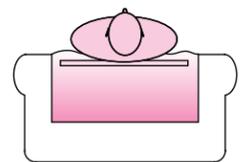


Fig1: Before フロートパックの上に横になります。

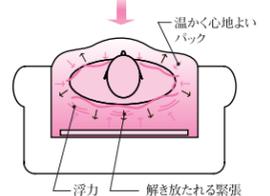


Fig2: It feels comfortably. 身体が沈み込むと同時に、温かく包み込まれ、全身が浮いているようになります。